

NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2010年11月17日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

NUBIC管理番号:	2009000068	整理番号	11454	担当者	松岡 義人
表 題	固着すべり状態評価システム及び固着すべり状態可視化システム				
技術分野	機械・加工	土木・建築	食品・バイオ		
適用製品	ロボット、生体部位測定、軟体物の測定、加工食品、簡易的地震発生メカニズム試験装置				
目 的	本装置は、センサ先端を軟らかい透明シリコンゴムにして被試験体に接触移動させて、シリコンゴムの変形、摩擦係数、移動前後の接触面の可視化などを計測できる測定器を目指す。 本装置の、把持するロボット指への適用、肩こりや筋肉や腹腔内圧などの生体部位、ゴムやシリコンなどの軟体物、こんにやくや豆腐などの加工食品への適用も考える。さらには、簡易的に地震発生メカニズムを知る試験装置の利用も考える。				
技術概要	今回開発した滑り・固着の可視化装置は、センサ先端を軟らかい透明シリコンゴムにして被試験体に接触移動させる。このときにシリコンゴムは摩擦により変形して摩擦係数が測定される。本測定法は、移動前後の接触面の相対変位の変化が静摩擦係数よりも早く現れ、接触面の可視化、滑りと固着の計測、摩擦係数と相対変位との関係などが判る測定器である。したがって、従来の滑り・固着の可視化装置に比べて、本測定器は摩擦・磨耗の可視化として有用であり、データに対する信頼性は極めて高い。 本装置は被試験体との接触状態を検出できるほかに、把持するロボット指への適用、肩こりや筋肉や腹腔内圧などの生体部位の計測、ゴムやシリコンなどの軟体物の硬度測定やこんにやくや豆腐などの加工食品の計測にも応用可能である。さらには、地震発生に至る滑りと低周波微動を同時発生させ、地震発生メカニズムを再現させる試験装置としても利用できると考える。				

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時					
(ふりがな) 氏 名					
会社名					
所 属		役職			
電話番号		FAX番号			
E-mail					
連絡事項					



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp